

## 精神看護学演習

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	3	区分・時間数	演習 22.5 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

### ・学習方針（講義概要等）

精神保健上の問題を抱えている患者を、患者としてだけ見定めるのではなく、その人に固有の生活の背景や、家族と地域生活との関係において理解する。精神疾患をもつ患者の回復を助けるために必要な治療的援助関係をアセスメントし、看護師が自らケアを提供する手段や方法を事例を用いてかかわり方を学習する。特に患者の生活史や家族背景、地域環境要因を把握し、患者の言動の持つ意味を多面的に理解できることによって、治療の場の構造や文化を看護に活用することを目指す。

### ・教育成果（アウトカム）

精神保健領域において看護援助を行う上での基礎的な知識と技術を習得後に、精神保健上の問題を抱えている患者のケアを適切に行うための計画と実施、評価をおこないながら、実際の看護展開に活かせるような対人的な能力を身につける。それにより対人関係のアセスメント能力を高めるとともに自ら対人関係能力を活用できるようにする。

#### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマポリシー：4,5,7

### ・到達目標（SBO）

1. 疾病別、個人別の対人関係パターンを捕らえるための方法を理解できる。
2. 患者の置かれた状況、家族関係を取り巻く対人的な環境についての査定を行うことができる。
3. 患者が自ら必要だと思える治療環境の効果的な選択ができるように促すことができる。
4. 回復過程に伴う療養上での困難な課題を患者とともに共有し、解決できるようなケアの見通しが持てるように演習によって体験したことを言語化できる。

・ 授業日程

(矢) マルチメディア教室、 (矢) マルチ 3-B 実習室、 (矢) マルチ 4-A 講義室、 他

【演習】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
4/6	火	2	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師	<p>【関係性のアセスメントの基本】 精神看護学概論、精神看護方法論で学習した内容と本科目のつながりや演習の意図、進め方についてオリエンテーションを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本科目と関連科目のつながりについて理解できる</li> <li>・ 本科目の意図、進め方を理解できる</li> </ul> <p>事前学修 精神看護学概論、精神看護方法論で作成した学習ファイル、精神看護の基礎 p54～106 を読み、精神疾患を持つ患者のアセスメントの際に必要な知識について復習する。</p>
4/7	水	3	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師	<p>【関係性のアセスメントの展開 1 統合失調症患者のケア】 「統合失調症患者の事例」について、グループワークにより実習用記録用紙を用いた看護アセスメントを展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実習記録用紙の記載方法について理解できる</li> <li>・ 積極的にグループワークに参加しディスカッションできる</li> </ul> <p>事前学修 精神看護の基礎 p150～183 を読み、統合失調症について復習する。</p>
4/7	水	4	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師	<p>【関係性のアセスメントの展開 1 統合失調症患者のケア】 統合失調症についてこれまでに学習した診断と疾病分類に基づいた発病と回復のプロセスを活用し、対人関係に着目してアセスメントを行う。学生同士のディスカッションにより得られた成果は、発表し全体での共有を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 統合失調症患者の看護アセスメントを展開できる</li> </ul>

4/15	木	1	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師	<p>【関係性のアセスメントの展開 2 気分障害患者のケア】 「気分障害患者の事例」について、グループワークにより実習用記録用紙を用いた看護アセスメントを展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実習記録用紙の記載方法について理解できる</li> <li>・ 積極的にグループワークに参加しディスカッションできる</li> </ul> <p>事前学修 精神看護の基礎 p183～192 を読み、気分障害について復習する。</p>
4/15	木	2	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師	<p>【関係性のアセスメントの展開 2 気分障害患者のケア】 気分障害について、これまでに学習した診断と疾病分類に基づいた発病と回復のプロセスを活用し、対人関係に着目してアセスメントを行う。学生同士のディスカッションにより得られた成果は、発表し全体での共有を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気分障害患者の看護アセスメントを展開できる</li> </ul>
4/19	月	3	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師	<p>【関係性のアセスメントの展開 3 神経症性障害、ストレス関連障がいおよび身体表現性障害患者、行動性症候群、パーソナリティ障害患者のケア】 病を追体験し、実習記録用紙を用いた看護アセスメントを展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 神経症性障害、ストレス関連障がいおよび身体表現性障害患者、行動性症候群、パーソナリティ障害患者のアセスメントを展開できる</li> </ul> <p>事前学修 精神看護の基礎 p193～209 を読み、神経症性障害、ストレス関連障がいおよび身体表現性障害患者、行動性症候群、パーソナリティ障害についてその病態を理解する。</p>

4/19	月	4	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師	<p>【関係性のアセスメントの展開3 神経症性障害、ストレス関連障がいおよび身体表現性障害患者、行動性症候群、パーソナリティー障害患者のケア】 アセスメントに基づき、患者の感情の安定に効果的なケアに関する演習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントに基づくケアを実施できる</li> </ul>
4/26	月	3	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師	<p>【関係性のアセスメントの展開4 社会のなかの精神障害】 社会のなかの精神障害について再考し、精神障害者が社会のなかでどのような関係性に「生きにくさ」を抱え社会生活を送っているのかについて、視聴覚教材を用いて理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神障害者が抱える「生きにくさ」について理解できる</li> </ul>
4/26	月	4	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師	<p>【関係性のアセスメントの展開4 社会のなかの精神障害】 視聴覚教材を視聴後、障害を抱える人々が抱える「生きにくさ」とそれが何によって生じるのかについてディスカッションを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的にディスカッションに参加できる</li> </ul>
4/30	金	3	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師	<p>【異和感の対自化とプロセスレコード】 病棟での実習場面を想定し、異和感の対自化、プロセスレコードを体験する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異和感の対自化について体験できる</li> <li>・プロセスレコードの記載方法を身につける</li> </ul>
4/30	金	4	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師	<p>【異和感の対自化とプロセスレコード】 対人関係のなかで生じる感情について表現し、その意味について考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロセスレコードの活用方法を理解できる</li> <li>・感情を活用したケアのあり方について理解できる</li> </ul>

5/10	月	1	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師	【患者への接近法Ⅰ 入院治療と看護の展開】 実習場面でおこりうる看護場面の再構成を行うために、実習病院の看護師や精神障害者当事者等もシナリオロールプレイに参加する。  ・シナリオロールプレイに積極的に参加できる
5/10	月	2	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師	【患者への接近法Ⅰ 入院治療と看護の展開】 病棟での実習場面を想定した事例の展開をシナリオロールプレイで学ぶ。  ・精神障害を抱える患者へのケアの方法を身につける ・ディスカッションにより精神科でのケアのあり方について考察できる
5/26	水	1	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師	【患者への接近法Ⅱ 地域における看護の展開】 実習場面でおこりうる看護場面の再構成を行うために、実習病院の看護師や精神障害者当事者等もシナリオロールプレイに参加する。  ・シナリオロールプレイに積極的に参加できる
5/26	水	2	地域包括ケア講座	遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師	【患者への接近法Ⅱ 地域における看護の展開】 地域における実習場面を想定した事例の展開をシナリオロールプレイで学ぶ。  ・精神障害を抱える患者へのケアの方法を身につける ・ディスカッションにより精神科でのケアのあり方について考察できる

・教科書・参考書等

教：教科書      参：参考書      推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 [1] 精神看護の基礎 第5版	武井麻子他	医学書院	2018
教	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 [2] 精神看護の展開 第5版	武井麻子他	医学書院	2018

・成績評価方法

1. 演習への参加態度や講義内容の到達度の形式的評価として、習得度チェックとレポート課題を適時実施する。
2. 定期試験時は、筆記試験をおこなう（記述と多肢選択）。
3. 筆記試験 70%、Portfolio（完成度と利用度の評価）を 20%、レポート 10%として最終評価とする。
4. 事故あった場合は追試をおこなう。
5. 筆記試験の到達度が低い場合は再試験をおこなう。
6. 授業に集中できていないことを教員が2度指摘しても変化が認められない時には定期試験の受験資格を失うことがある。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

事前学修については、到達目標の内容に関連する項目について教科書を読むこととし、適宜講義で教員からの質問に解答できるように準備し、各回最低 30 分以上を要する。また、授業中に映写するパワーポイント資料は Webclass に掲載するので必ず確認し、理解不足だと思う点を教員に質問し、その都度放置せずに事後学修すること。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

習得度チェックについては、各自で教科書、資料を用いて解答を確認する。学生の理解度に応じて講義で解答・解説を行う。

提出されたレポートは採点后、コメントを付して返却する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：専門分野Ⅱ 精神看護学

【その他】

講義では、教員、実習病院・クリニックの看護師、精神障害を抱える当事者等と学生とのディスカッションにより、精神看護のケアのあり方について理解を促す。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
演習	プロジェクター・PC	各 1	講義用スライド投影